あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

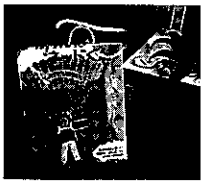
BOOK NO.33

編集＝山形村図書館

図書館からのお知らせ

＊春休みに計画中
本であそぼ・早春編
「絵本バッグを作ろう」

絵本のカバーでバッグを作ります。図書館でも絵本カバーを用意していますが、おうちにあるものでもできます。お気に入りのものがあったらお持ちください。期日が決まり次第、図書館でお知らせします。お楽しみに。



図書館でミニ展覧会
「菊原ワールド春夏秋冬」
2月9日(金)～25日(日)

山形村図書館内には、住民のみなさんによる絵や切り絵などの作品が飾られています。勉強に疲れた目をそっと癒したり、季節感あふれる絵に微笑んだりされた方も多いことでしょう。

図書館の出入り口の壁には、月替わりで菊原郁哉さんの絵を飾っています。そのほのぼのとした絵柄と、あたたかい色彩が好評です。

菊原さんが描き溜めた作品をお借りして、「菊原ワールド春夏秋冬」と題してミニ展覧会を開きます。今まで飾ってきた絵に加えて新作も並ぶ予定です。寒くて家にこもりがちなこの季節、ぜひ図書館にいらして、ほっこりしてください。

図書館講座
「パーマカルチャー 人の暮らしが環境を豊かにしていく」

期日　3月10日(土)10時30分～12時
会場　トレーニングセンター「めばえの部屋」
講師　四井真治さん
　　小祝慶子さん

図書館に『パーマカルチャー農的暮らしの永久デザイン』（ビル・モリソン著　農文協）という本があります。鉢盛中学校では、「先生からのおすすめの本」として図書館前に掲示されていました。

「この本、私が訳したんですよ」とにっこりされたのは、英語教師の小祝慶子先生でした。こんな身近に翻訳者がいるなんて！ぜひ図書館で「パーマカルチャー」についてお話してほしいとお願いすると、小祝先生は「喜んで！」と快諾してくださいました。

そもそも「パーマカルチャー」ってなんでしょう？「人間にとっての恒久的持続可能な環境をつくり出すためのデザイン体系」と説明されています。自然と調和しながら農的な暮らしをする…少し昔の里山では、当たり前の暮らしだったかもしれません。

今回は、パーマカルチャーを実践している四井真治さんにも来ていただけることになりました。自然から人へ、また自然へと循環する、そんな暮らしぶりをのぞかせてもらいませんか？

おすすめ新着本紹介

『サッカク探偵団』1～3
藤江じゅん(角川書店)

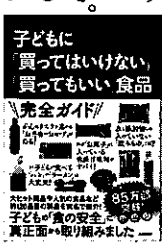
サッカクを使ったトリックの謎を解く「サッカク探偵団」の物語。12月のぶっくかふぇで、小学生が紹介してくれました。

『10歳の質問箱　なやみちゃんと55人の大人たち』日本ペンクラブ「子どもの本」委員会：編(小学館)

子どもたちの悩みや疑問に言葉のプロの作家たちが答えます。くすっと笑っちゃうような答えから、心にしみる回答まで様々です。あなたを支える言葉に出会えるかもしれません。

『子どもに「買ってはいけない」「買ってもいい」食品』
渡辺　雄二(大和書房)

子どもが大好きなウインナーやお菓子。より安全なものを食べさせるために注意したいことを学べます。



『日本の神様解剖図鑑』
平藤　喜久子(エクスナレッジ)

山形村民には身近な道祖神や、日本サッカー協会のシンボル八咫烏など日本にはたくさんの神様が祭られています。八百万の神様の起源やご利益が全部わかります。

『キッチンコロシアム』
田中経一(幻冬舎)

1990年代人気を博したTV番組「料理の鉄人」。その演出を手掛けた著者によるグルメミステリー。懐かしい鉄人たちが勢ぞろいです。

『ランチ酒』
原田ひ香(祥伝社)

娘を残して離婚した祥子は「見守り屋」。病気の子どもや認知症のペットなどの、深夜の見守り、付き添いが仕事です。つらいこともあるけれど夜勤明けに祥子が楽しむ、おいしい料理とうまい酒に胃袋をつかまれてしまいます。